

LGBTQ+ 多様な『私』のいる図書室

人が「生きている本」になって貸し出されるイベントです。

あなたも「読者」になって、「本」が語る体験と思いに触れてみませんか？

今まで知らなかった、新しい発見や気づきがあるかもしれません。

2023年
11月11日(土)

アピオあおもり
2F 小研修室3



■日程：2023年11月11日(土)

■開催時間：①10:45～11:30

②13:15～14:00

③14:15～15:00

■場所：アピオあおもり 2F

小研修室3

(青森市中央3丁目17-1)

■定員：各回12名

■参加費：無料

■参加方法：事前申込可

(締切11/8)

※定員になり次第締切となります

※空席がある場合は当日受付可

■お申込先：スクランブルエッグ

右のQRコードまたは下記
URLの申込フォームから
お申し込みください。



[http://gochamazetamago.main.jp/
apio_autumn_festival/](http://gochamazetamago.main.jp/apio_autumn_festival/)

「本」のラインナップ

『私の歴史』

いつからこうなったのか分からない。気づいたら女の人が好きになっていた。

両親の不仲、学生時代に受けた嫌がらせ、生きていく意味を見いだせず苦悩した日々…。そんな私がサークルやパートナーと出会い、少しずつ生きる意味や幸せを見つけている。

過去に受けた痛みや傷を抱えながらそれでも未来へ歩いていく。私の過去は私が刻んだ歴史。

たった1人でもいい。私の歴史書が誰かの心の救いになれて、未来へ向かって歩き出すことが出来るのなら幸いです。

『父になる』

15の頃、将来の夢を訊かれて思い描いたものは、どこにでもいるような平凡な「父親」だった。けれど叶うわけがないと思った。何故なら私は「女」だったから。

描いた夢は言葉にすることもなく消えて、自分でもすっかり忘れていた。

それから30年。私は今、平凡に見える家庭で「父親」として2人の子どもを育てている。

悩み、葛藤、原家族とのわだかまり。簡単には明かせなかったここに至るまでの道のり、そして未来への思いを、話してみたいと思う。

『私と、パートナーシップ宣誓制度

～担当職員の奮闘記!?～』

これまで市民課や市民税課などで仕事をしてきた私は、異動により突然、性的マイノリティに関する業務を担当することになります。

まずは、自分が性的マイノリティに関して知ることから始めなければ！と、スクランブルエッグさんのイベントに潜入(!?)したのですが…

そこから弘前市がパートナーシップ宣誓制度を導入するまでの想いの変化や得られた気づき、また、嬉しかったことや辛かったことなどについてお話しします。

『動物、イラスト、あとひとつ』

セクシャルマイノリティの当事者も、常にそれだけをテーマに生きてきたわけじゃない。勉強はできるけど運動はダメで、恋愛とかあんま興味なくて、動物と絵を描くことが大好きな、ふつうの青森の子どもだった。良い家族のもとに生まれて、大学やサークルでの活動を通して自分に合った専門を見つけて、いま楽しく暮らしている。

この本の主人公が、自分にとっての3つのテーマを見つけながら、幼稚園児から25歳の社会人に成長するまでを追いかけていきます。

『揺れ続ける心』

私は小さい頃から、他の人と違うことがあった。

それは恋愛対象が異性である男性ではなく、同性である女性であるということ。

最初は父からの虐待のせいであったり思春期特有の思い違いだなんて思い込もうとしてきたけれど、でもそうじゃない。

私が理解のある友人と世間からの偏見の目の狭間で、セクシャリティを含めて、自分自身と悩みながら向き合い続ける物語を——誰かに知って欲しい。

社会的マイノリティ等の人を「本」に見立てて貸し出すこのイベントは、“ヒューマンライブラリー”と呼ばれます。その語りは、知らなかった課題や固定観念への気づきを生み出し、多様性への理解を深めるきっかけになります。

●今回は、1人の「本」と3～4人程度の「読者」でグループになり、1回30分の読書時間をお過ごしいただけます。

●受付時に、利用規約に同意の署名(通称名可)をいただきます。

●希望の「本」が貸出中の場合は、他の「本」をお選びください。

●事前申込では席の予約のみ承ります。「本」の予約はできませんので、ご了承ください。

